

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	日直業務が多すぎて気持ちにゆとりがないと思う職員がいる。業務を優先することで、利用者の安全面が損なわれる。	職員全員が納得できる業務内容とし、無駄のない時間配分と、利用者優先に考慮した生活ができる。	グループホーム会議にて、具体的な問題を明らかにし、業務内容の見直しを行う。効率性良く、業務が行えるよう、細かな意見や要望を擦りあわせていく。	6か月間
2	12	日曜日以外は毎日入浴があり、毎日半日はゆっくり利用者の方々と交流がもてない。	1日に4人～5人入浴することができる(入浴日は月・火・木・金の4日間)。水道料金経費節約。行事や活動時間が増えることにより、より一層笑顔がひきだせる。満足度アップを図る。	受診対応が重なる日もあることから、日曜日のケア会議時は細かな調整をする。入浴日以外(受診対応日外)は活動・外出・レクリエーション・行事などを計画する。	6か月間
3	35	避難訓練の内容の充実	夜間想定の実施(確実に職員全員、個々のレベルアップを図る)。	消防分署職員より受けた指摘事項の改善ができるような内容を職員全員がマスターできるように毎月計画的に実施する。年間計画に入れ、計画作成担当も決める。	1年間
4	21	9名の利用者様同士の相性を知り、それぞれがよりよく生活できるよう、職員が間に入るが、タイミングがずれて、利用者間のささいなけんかが発生する。	利用者一人ひとりが孤立せず、よりよい空気感で過ごすことができる。職員間でフォローし合える協力体制が強化する。	利用者様個々に応じた役割づくりをより一層情報を共有し、ケアにつなげる。認知症ケアに関する職員への指導・育成、自らの自己研鑽に努める。	1年間
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。